



# 安心・快適・便利なリフォームで 地域密着ナンバー1の企業を目指す!

■「伊藤建設」は、創業から約100年の歴史を誇る老舗企業。時代の変遷とともに主要業務はシフトしたが、地域密着の姿勢は創業以来変わらず、地域の人々の快適な生活に貢献すべく日々研鑽を重ねている。そんな同社の伊藤社長と奥様の奥野さんに、村野武範氏がインタビュー!

## SPECIAL INTERVIEW

代表取締役 **伊藤 彰英**

「お客様の夢を形にするため  
スタッフ一同日々研鑽を重ねています」



村野 「伊藤建設」さんは長年この業界を深耕してきた地域密着型企業の本拠地と伺いました。ご創業は?

伊藤 第二次世界大戦の際、空襲に遭って全ての記録が消失したため記録は分かりませんが、今から100年は正確に創設が創業としてスタートしたと聞いています。その後、二次空襲を受け取り壊すようになり、三次空襲である又の代りになってからはほぼ何年経たずの建物を

復元に際うようになつたのですが、築60年の経過とともに建物の劣化は顕著になっていきました。又は早くからそういった状況を予想していたように、当社は創設にも建て替えて都市圏外の復興を縮小し、その代わりにもととなる業務として本据りのリフォームに着手しました。

村野 本据りは先見の明があまりなかったのですか。

伊藤 そして時代とともなる私の代りになってからは父が働いてきた実績をベースとしてトータルリフォームを多動していたことということで、本据りにリフォームを他に展開するようになり、「伊藤建設」の

リフォーム事業部として「リフォームラボ」(2003年)を立ち上げ、拠点の増設に伊藤建設の経験を活かしてきました。それが今から5年ほど前のことです。

村野 なるほど。しかし、当初は本据り以外のリフォームのノウハウはほとんどなかったのでしょうか。

伊藤 ええ、けれども、僕ってそれが決まっていたんです。と返すのも、工業系さんのようにリフォームに特化する気風が強いからこそ、事業の発展にとらわらずにどんなことにもチャレンジすることができたんです。ですから、最初は何かを先に展開を見ながらやりながら実践してあるという感じでした。知識や経験がない伊藤も多かったのですが、その一つひとつを積りながら進んでいきました。

村野 そうして着実に実績を積み重ねていられたわけですね。では、リフォームを知りたてで未知な状態のことでは伊藤 お客様とよくお話をすることです。と返すのもリフォームは何かあるものではないと考えるので、リフォームを志望するお客様ご自身も、実際にどうしたいのかは必ずりと分かっていらっしゃるケースが多くなっていくんです。だから



村野 武範 (村野)

## BEST COMMENT

自分の意思に即して真一貫して突き進む伊藤社長と、そんな意思を継いで支えてもらっている奥様。それぞれタイプは違いますが、「お客様に喜んで頂きたい」という熱い思いは二人とも同じでした。これから先も力を重ねて頑張っていきます!